

LEAVE NO TRACE レベル1 インストラクターコース 開催要項



大阪 YMCA 総合研究所は Leave No Trace Japan 団体エデュケーションメンバー Wilderness Education Association Japan 団体メンバー です

- 主催：大阪 YMCA 総合研究所
- 日時：2024年6月1日（土）10時集合～2日（日）18時解散 1泊2日
- 会場：六甲山YMCA、六甲山域 〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲 875
- 対象：アウトドアガイド、キャンプカウンセラー、アウトドアセンタースタッフ、学校教員など
- 定員：12名（最少催行4名）先着順
- 受講料：24,000円
- 資格：すべての講習を満了に修了した方はレベル1インストラクター資格取得の権利を得ることができます
資格取得には会員登録（個人会員 5,000円/1年更新）が必要です
レベル1インストラクターはLNTワークショップを実施し参加者に修了証を授与できます
- 締切：2024年5月24日（金）17時
キャンセル規定を設けています。申込時にご確認ください
- 申込：申込フォームよりお申し込みください
- 問合せ：outdoor-training@osakaymca.org または 080-9064-4325（公用携帯）

レベル1インストラクターとは

- ・アウトドアの最前線に立つ指導者、管理者のために適した資格です。参加者、生徒に対してアウェアネスワークショップや、日常的な野外指導を通じて、LNTを伝える役割を担っています。
- ・カリキュラはLNT7原則の中から特定のトピックスを選び、コースの参加者に対して、ワークショップのティーチングを行います。参加者はこのティーチングやインストラクターからの補足を通じて、LNT7原則の基礎的なスキルを身につけます。
- ・トレーナーコースを通じて、多くの野外指導者はLNTの必要性を理解し、LNTを実践するようになります。

YMCAが実施する講習の特徴

- ・指導法、環境倫理、安全のグローバルスタンダード有資格認定指導者が全人的に指導します
- ・事前オンライン学習を通じて、2日間の集合講習の学びをより深めます
- ・1泊の野外遠征をおこないながら実施し、国際基準の**野外スキル（WEA6+1）**を体験します
- ・WEAカリキュラム（WEA6+1）を通じて、野外遠征の魅力を人に伝えることができます
- ・WEAの**アウトドアリーダーエクスペリエンス**修了証（無料、期限なし）を取得できます
- ・1年間のWEAJの準会員の権利（実質5,000円の価値）が得られます
- ・野営地でのテント泊です
- ・食事は受講者自身が食材を持参する自炊です
- ・野外装備は持参または無料で貸し出しします
- ・講習終了後も**専用サイト**で学びやワークショップ開催の支援をします



プログラム

1日目 6月1日（土）		2日目 6月2日（日）	
10:00	集合・受付 オープニング LNTティーチングスタイル	6:00	起床 朝食（自炊） スチューデントティーチング
12:00	昼食（各自持参弁当） 野外遠征準備	11:30	昼食（自炊）
14:00	六甲山YMCA出発 スチューデントティーチング	13:00	野営地発 スチューデントティーチング
17:00	野営地着 スチューデントティーチング 設営、夕食（自炊）	16:00	六甲山YMCA着 まとめ 登録諸手続き クロージング
19:00	スチューデントティーチング	18:00	終了
20:00	LNTワークショップ開催方法 懇親、就寝		

※天候等によりプログラムを変更する場合があります

ルール、マナー

- ・ 講習会中は終日禁煙、禁酒です
- ・ 講習会中の外出はできません
- ・ 指導者にふさわしい服装、言動をお願いいたします

宿泊、入浴

- ・ 野営地でのテント泊
- ・ 入浴はありません

食事

- ・ 1日目昼食はお弁当（持参）となります
- ・ 1日目夕食、2日目朝食、昼食は各自食材、調味料等持参となります
- ・ LNTの実践としてゴミの削減、調理のしやすさ、おいしさ、カロリーのバランスを考えて準備します
- ・ シングルバーナー、コッヘルでのソロクッキング（自炊）となります

装備

- ・ LNTの実践として以下の持ち物をご準備ください
- ・ 「貸出可」の持ち物は無料でご利用いただけます ご希望の方は事前に申告してください
- ・ シングルバーナー用のガスカートリッジは有料販売（1缶660円）となります

1. 炊事、食材関係

	コッヘル	貸出可	食器／容器	使い捨てでないもの
	シングルバーナー	貸出可	はし、スプーン	使い捨てでないもの
	ガスカートリッジ缶	有料販売	調味料一式	
	マッチ／ライター		ドリンク	粉末他
	ナイフ		お弁当（1日目昼食）	
	まな板		食材（夕・朝・昼3食）	冷蔵庫はありません
	ゴムへら		行動食	トレイルフード
	水ボトル（1ℓ）×2	ナルゲン推奨	ドリンク用ボトル	

2. 野外遠征関係

	バックパック（60ℓ程度）	貸出可	野外活動に適した服装一式	
	ザックカバー	貸出可	トレッキングシューズ	
	野外座布団		着替え	
	寝袋	貸出可	雨具	ゴテックス等
	スリーピングマット	貸出可	防寒着	薄手フリース等
	ファーストエイド		洗面用具	
	ヘッドライト		筆記用具	
	スマートフォン		常備薬	
	モバイルバッテリー		保険証	
	ゴミ袋（大、小）		受講料 24,000円	現金
	チャック付きビニル袋		クレジットカード	登録料 WEB 払い
	コンパス（SILVA等）			

事前学習

- ・ お申込み（開催決定）後、開催要項詳細およびオンライン学習（オンデマンド）のご案内をします
- ・ 7原則から1～2つをティーチングの課題として指定します
- ・ ティーチングの準備をして集合講習にご参加ください

LNT 7 原則

原則 1 事前の計画と準備 (Plan ahead and prepare)

- ・行き先のルールや注意することを知ろう
- ・悪天候や緊急時に備えよう
- ・ピークシーズンや混雑する時間帯を避けよう
- ・できるかぎり少人数のグループで活動しよう
- ・できる限りゴミが少なくなるようにパッキングしよう
- ・標識に頼らずに地図とコンパスを使おう

原則 2 影響の少ない場所での活動 (Travel and camp on durable surfaces)

- ・指定地、岩、砂、雪、乾いた草など頑丈な土地の上で活動しよう
- ・キャンプサイトは水辺から 60m 以上離れたところを見つけよう
- ・よいキャンプサイトは作るのではなく見つけよう

よく使われている場所では

- ・指定のトレイルやテントサイトを利用しよう
- ・トレイルがドロドロでも真ん中を歩こう
- ・キャンプサイトは植生が少ない場所にできる限り小さく設営しよう

ほとんど使われていない場所では

- ・人が入っていないところではキャンプサイトや歩行を分散させよう
- ・インパクトが始まりかけた場所は避けよう

原則 3 ゴミの適切な処理 (Dispose of waste properly)

- ・すべてのゴミや食べかすを持ち帰ろう
- ・キャンプサイトや休憩場所を離れる時にゴミを確認しよう
- ・トイレは水辺、テントサイト、トレイルから 60m 離れたところを見つけよう
- ・トイレは 20cm 程度穴を掘って行き、終わったらしっかり埋めよう
- ・トイレトペーパーは持ち帰ろう
- ・食器は水辺から 60m 離れたところで、必要最小限の天然洗剤で洗おう
- ・食べかすはこし網で取り除こう

原則 4 見たものはそのままに (Leave what you find)

- ・文化的、歴史的遺跡は触れずに見るだけにしよう
- ・石、植物等すべての自然物は置いて帰ろう
- ・外来生物を運んだり、持ち込んだりするのを避けよう
- ・木で何かを作ったり穴を掘ったりしないようにしよう
- ・キャンプサイトはもとどおりにしてから出発しよう

原則 5 最小限のたき火の影響 (Minimize campfire impacts)

- ・できる限りストーブを使うようにしよう
- ・たき火をするときは焚き火台やマウンドファイヤーを使おう
- ・たき火の大きさは必要最小限にしよう
- ・薪には手で折れる程度の落ちている枝だけを使おう
- ・すべての薪が灰になるまで燃やそう
- ・灰は完全に消火してからバラまこう

原則 6 野生動物の尊重 (Respect wildlife)

- ・野生動物は遠くから観察しよう
- ・野生動物にエサをあげないようにしよう
- ・食べ物に野生動物が近づかないようにしよう
- ・ペットはいつもつないでおくか、家に置いてこよう
- ・子育てや巣作りなどをしている野生動物には近づかないようにしよう

原則 7 他のビジターへの配慮 (Be considerate of other visitors)

- ・他のビジターの体験の質を保とう
- ・他のビジターとスペースを譲り合おう
- ・他のビジターとすれ違うときは登りの人を優先しよう
- ・キャンプや休憩はトレイルから離れて行おう
- ・自然を静かに楽しもう